

～ All for one, One for all. ～



光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 226 号 —

2024 年 4 月 25 日発行

人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである。

マルコによる福音書

第一〇章 四五節

すると、王は答えて言うであらう、『あなたがたによく言っておくわたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである』。

マタイによる福音書

第二章 四〇節



待ちに待った桜の開花に喜ぶ利用者 (光の家神愛園)

巻頭言

開花が遅れた桜の花も散り、初夏を思わせるような陽気も感じられる季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今号では、東京光の家の石渡健太郎理事長より、職員新年度の集いの「令和六年度に向けて」の内容について、光の家職員の基本姿勢や心がけ、そして今後の事業の展望等を掲載させて頂きました。

昨年度は、新型コロナウイルスの集団感染が複数回発生し、その都度光の家の全職員が一致協力して、感染拡大を防ぎ、難局を乗り切ることができました。掲載の文中でも触れられている「愛の実践」を全職員が徹底したからこそその結果だと思っています。そして、令和六年度以降は、光の家就労ホームの拡張整備や栄光園作業棟の移転計画など、利用者がより活動しやすい環境の整備が進む予定で、とても楽しみな一年になりそうです。

令和六年度に向けて

利用者に仕える気持ちを大切に

東京光の家理事長 石渡 健太郎



東京光の家の令和六年度が始まりました。

令和六年度は東京光の家の創立から一〇五年目となります。その間、東京光の家は基本理念である「盲人に聖書の福音を」を大切にし、「愛のある利用者支援」をこれからも引き続き実践していくことが何よりの使命であると考えております。

昨年度は昨年末から今年の二月にかけてコロナのクラスターが発生しました。その際、光の家で作成したコロナ版BC

Pを発動して、感染施設職員だけでなく、他施設職員にも応援要請して法人全体で対応することで何とか収束することができました。その間、職員が「愛と奉仕の心で誠実な業務を」という東京光の家の基本方針をしっかりと実行して頂いたと思います。無事に収束できたのは、職員が愛のある利用者支援、隣人となる支援、寄り添う支援という「愛の実践」をして頂いたからだと思っています。職員自身を捧げ、仕える精神で献身的に利用者を支援している姿に只々、感動しました。この経験は必ず今後に生きると思っています。なぜならば、こういう危機的な状況になった時にこそ、法人の理念がしっかりと根付いているかどうか問われるからです。「令和六年度職員新年度

の集い」においても改めて聖書における「仕える」という言葉の意味についてお話させて頂きました。

マルコによる福音書第一〇章四五節「人の子（イエス・キリスト）がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人の贖いとして、自分の命を与えるためである。」と書かれています。また、

者ひとりひとりに神が宿っていると思つて仕える気持ちで支援にあたるということになります。このような心掛けで愛のある利用者支援を行うことが結果的に不適切支援の防止にも役立つと考えています。お蔭様で利用者の笑顔が絶えない一年であったことは誠に感謝でございます。

さて令和六年度の事業についてですが現在、光の家就労ホーム作業棟の増改築工事を行っているところです。来年三月が終了予定ですが一階には新事業としてLED野菜工場も併設され、更なる農福連携が図られます。そして、将来、隣接地に栄光園の作業所が移設されることで就労ホームと栄光園との「食」を通じた新たな事業連携が可能となる予定です。最後に繰り返しになりますが引き続き利用者に仕える気持ちを持って愛のある利用者支援を心掛けていきたいと思つていますので今後とも宜しくお願い申し上げます。



栄光園の自由画帳の製作について説明を受ける小学生

日野市立第六小学校のみなさんが光の家を訪問し、光の家栄光園の作業を中心に、光の家の職場を見学していただきました。缶バッジ組み立てや、点字印刷、紙製品を製作している現場を見て、最後には光バンドメーンバーの演奏を聴いていただきました。小学生のみなさんからもプレゼントを頂き、とても良い交流の機会となりました。

日野第六小学校 職場体験

令和六年二月二十八日(水)



日野市立
滝合小学校
交流事業
令和六年二月二十日(水)



小学生と交流する光の家利用者

令和二年度から毎年、お声がけを頂いているかわせみ学級との交流で訪問させていただきました。今年は、かわせみ学級の方たちに劇を披露していただきました。青い寶石を探す冒険物語で歌や踊りがあつて、楽しい時間をいただきました。質問コーナーもあつて皆さんで好きなことを質問しあつてお互いの距離が近くなりました。



いつも通り整然と並んで点呼を受ける利用者

光の家では今年も近隣自治体や企業との災害時の防災連携のための合同防災訓練を計画しましたが、天候の関係で実施できず通常の防災訓練を行いました。
出火元に素早く駆けつける職員、廊下に整然と並んで点呼を受ける利用者など、日頃の訓練の成果を存分に発揮した訓練となりました。

光の家の 防災訓練

令和六年三月十二日(火)



創立者追悼集会の様子

東京光の家の創立者、秋元梅吉先生を追悼する会が開催されました。コロナ禍で数年にわたり続いた代表者による参加から、今年は大勢の職員、利用者が光の家講堂に集い、創立者を偲び、東京光の家の創立の理念を再確認することが出来ました。

第四十九回 創立者秋元梅吉追悼集会

令和六年二月七日(水)
会場…東京光の家講堂



イースターの巨大タマゴ

二十七回目になった作品展でしたが、多くの来場者と、開催に当たっては様々な団体のご協力を賜りました。今後も、光の家のSDGs支援事業として、作業作品の展示を通じて、障害者の理解・啓発活動につなげていきたいと思います。

今年度も「手さぐりの作品展」がイオンモール多摩平の森にて開催され、多くの方々に来場いただきました。

今回のテーマは「Reborn (再生) × リボン」です。イエス・キリストの復活と Reborn

を掛けて、ビーズで作った卵を皆で作製いたしました。またリボンは光の家の利用者と地域の皆様との絆を育むきっかけにと思い、テーマに選びました。

会場の中央に織り機を使用して作ったタペストリーで表現しています。



光の家SDGs活動

第27回

手さぐりの作品展

令和六年三月一日(金)～三日(日)
会場：イオンモール多摩平の森イオンホール



Reborn × リボン !!



今年の干支です！



かわいいパンダやキリンのトルコマット



木工作品に触れる利用者

令和五年度 締めくくりの会

令和六年三月十九日(火)～
二十六日(火)
会場…東京光の家講堂

今年も各施設において年度末の締めくくりの会が行われました。昨年五月にコロナウイルス感染症が五類感染症に移行したこともあり、今年は保護者の方の他に各施設より代表の利用者と職員も招待して開催することが出来ました。

一年間仕事や健康面で努力

されていた利用者への表彰や、会に向けて一生懸命練習した歌や劇を披露する場ともなりました。

コロナのクラスターなど様々な試練のあった一年でありましたが、制限等無く無事に会を開催することが出来たことに感謝したいと思います。



新生園「納め会」



神愛園「感謝会」



栄光園「みのりの会」



就労ホーム「結の会」



今年も多くの方が立ち寄って下さいました

今年も昨年に引き続き城山かたくりの里にて作業作品の販売を実施させていただきました。春の訪れを感じさせる紫の日本かたくりを始め、色とりどりの花々を鑑賞しに沢山のお客様が来場され、神愛園の利用者が作った作業作品も沢山手にとっていただくことが出来ました。

神愛園作業作品
城山かたくりの里販売
令和六年三月二十三日(土)、
三十日(土)、四月六日(土)～七日(日)、
十三日(土)、二十日(土)～二十一日(日)

令和六年度

新任職員紹介



今年は東京光の家に三名の
新任職員が加わりました。
の皆様のために精一杯力を尽
くして頂きたいと思えます。

三名ともこれまでの様々な
経験を生かし、光の家利用者
光の家の皆様どうぞよろし
くお願いします！

光の家栄光園



高橋 美穂

総務部食事課



濱田 悠椰

総務部総務課



渋谷 舞里子



東京光の家の研修

東京光の家では、事業運営

をより強固なものにするための
取り組みとして、職員研修に
力を入れています。令和五年
度も、新任職員研修をはじめ、
経験年数別、職員階層別、職
場の交換研修、救命講習会な
ど多くの研修を実施しました。

三月に行われた新任職員研
修では、令和五年度中に採用
となった常勤、非常勤職員が参
加し、三日間の集中研修が実
施されました。

職歴一〜二年の新任層、三
年以上の中堅層研修も行われ、

各現場で利用者支援をするた
めの知識や技術についての座学、
ディスカッション形式の研修が
行われました。

幹部会研修や課長研修など
の階層別研修も、宿泊型研修
として実施され、職場から離れ
た環境のもと、光の家の中長期
的な課題などについて時間を掛
けて話し合う形式での研修を
実施しました。

交換研修は、現場職員が、
職場を入れ替えて一週間現場
作業を行う研修でした。また、
利用者の命を救うための救命
講習も実施され、緊急時のAED
の使用方法をはじめとした救
命のための技術を学びました。



幹部会研修



新任層研修



救命救急講習会



就労ホーム入所式（利用者 2 名）



新生園入所式（利用者 4 名）

今年度は就労ホームに二名、新生園に四名の方が入所されました。

令和六年入所式
光の家就労ホーム 令和六年四月二日
光の家新生園 令和六年四月四日（木）
会場：東京光の家講堂



新たな二十歳ガンバレ！

今年度は就労ホームから二名の方が二十歳を迎えました。当日は、一名の参加でしたが、新生園、グループホーム有志の皆さまに参列していただき、アットホームな温かい会となりました。

**令和五年度
二十歳を祝う会
決意新たに**
令和六年一月八日（月）
会場：東京光の家講堂



故藤田 洋先生の告別式の様子

東京光の家の監事を長きにわたって務めて頂き、東京光の家を支えて下さいました藤田 洋先生が、令和六年三月二十五日に逝去されました。
昭和六十三年四月より令和五年六月までの約三十五年にわたり、東京光の家の監事を務められ、監事を退任された際には、この会報誌にもご寄稿くださるなど、私たちに大切なメッセージを残してくださいました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

**藤田 洋 前監事
逝去**

令和五年十二月十三日
令和六年三月二十八日

寄付者名簿

山崎郡治様 みかん 二一四個
河村正様 玄米 六〇kg
土屋いち子様 大根 二四kg
坂本昭一様 玄米 六〇kg
（株）リード・リアルエステート様

切り餅 三パック
コーヒー 二パック
紅茶 二パック
トイレットロール 二パック
箱ティッシュ 二パック
食器洗剤 二パック
ココア 一パック
緑茶 二パック
広瀬美幸様 えのき 五kg
坂本武様 いよかん 三一個
日野市旭が丘郵便局 局長 夏みかん 三〇個
本多英二郎様 消毒液 四四本
辰巳産業株式会社様
床置型エアコン 二台
壁掛型エアコン 二台
古川裕子様 もずく 一八kg

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

ひのしみん交流コンサート

令和六年二月十八日(日)
会場：イオンモール多摩平の森 イオンホール

昨年に引き続き、イオンモール多摩平の森と日野市ボランティアセンター共催で、市民との交流を目指したコンサートが開催され、光バンドが演奏を行いました。

当日は無料のチケットをイオンモールに買い物に來ているお客様に配布させて頂きました。演奏は、午後二時からと午後三時三十分からの二部公演で、小さなお子さんから高



イオンホール特設ステージ



精一杯歌いました！

齢の方々まで幅広い世代の方々に聴いて頂けるような曲を選曲し演奏をしました。日野市にゆかりのある異聖歌作詞の『たきび』は來場者の皆さんと一緒に歌いました。二〇〇名以上の方々が來場して下さい、拍手や声援を頂きバンドメンバーも元気を頂きました。

光バンドの事を日頃から応援して頂いている方は勿論の事、日頃イオンモールで買い物をして頂いている市民の方々に、改めて東京光の家の事を知って頂く良い機会になったと思います。



会場全体の様子

今年も「旭が丘地区から福祉共生社会を揚げよう!!」のスローガンのもと、地元自治会主催で「桜祭り」が開催されました。光の家もSDGs支援事業の一環として、作品展の展示と模擬店での販売を行い、地域住民の皆様との交流が図られました。

地元自治会主催の
「桜祭り」に参加！

令和六年三月二〇日(土)
会場：日野市旭が丘中央公園



作品展ブースでの大坪日野市長



ポップコーンの販売

発行 東京旭が丘一〇六五
社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八二)二三四八
FAX 〇四二(五八二)九五六八